

一般廃棄物処理施設の維持管理に関する情報の公表について

(2022 年度 サンライズクリーンセンター)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第4条の5の2に基づき、一般廃棄物の焼却施設であるサンライズクリーンセンターの維持管理に関する情報を公表いたします。

1. 処分した一般廃棄物(可燃ごみ)の量 ■規則 第4条の5の2第1項第1号 イ 関係

区分		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年度計
		単位													
焼却量	1号炉	t	1,625.07	575.84	2,163.54	1,962.26	2,153.94	2,071.17	367.63	1,504.82	2,171.80				14,596.07
	2号炉	t	2,038.64	2,265.73	807.14	1,998.20	1,073.93	1,639.79	2,391.44	5.18	1,671.22				13,891.27
合計焼却量		t	3,663.71	2,841.57	2,970.68	3,960.46	3,227.87	3,710.96	2,759.07	1,510.00	3,843.02				28,487.34

2. 燃焼室中の燃焼ガス温度、集じん器に流入する燃焼ガス温度、排ガス中の一酸化炭素(CO)濃度(すべての日平均値の月平均値) ■規則 第4条の5第1項第2号 ト、リ、ヲ 関係

項目		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年度平均値
		単位													
燃焼室中の燃焼ガス温度	1号炉	℃	922	890	902	935	925	925	928	896	917				916
	2号炉	℃	917	884	904	922	925	924	903	895	911				909
集じん器に流入する燃焼ガス温度	1号炉	℃	166	175	171	164	170	169	172	171	170				170
	2号炉	℃	166	172	168	172	170	168	174	172	169				170
排ガス中のCO濃度	1号炉	ppm	2	3	3	3	3	3	3	3	3				3
	2号炉	ppm	5	5	6	5	7	6	5	5	3				5

3. 冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去を行った日 ■規則 第4条の5第1項第2号 ヌ 関係

項目	1号炉	2号炉
冷却設備	工場稼働中は自動で行われます。	工場稼働中は自動で行われます。
排ガス処理設備	工場稼働中は自動で行われます。	工場稼働中は自動で行われます。

4. ばい煙量又はばい煙濃度測定結果 ■規則 第4条の5第1項第2号 カ 関係

区分	基準値	単位	1号炉			2号炉		
			1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
排ガスを採取した年月日			2022年6月10日	2022年10月3日		2022年5月6日	2022年9月16日	
結果が得られた年月日			2022年6月24日	2022年10月18日		2022年5月20日	2022年10月3日	
ばいじん濃度	0.01	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満		0.001未満	0.001未満	
塩化水素濃度	40	ppm	4	10		11	4	
窒素酸化物濃度	50	ppm	31	29		30	29	
硫黄酸化物濃度	30	ppm	11	0.7		7	8	
水銀濃度	0.05	mg/m ³ N	0.00036	0.00097		0.00027	0.00041	

5. 排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果 ■規則 第4条の5第1項第2号 カ 関係

区分	基準値	単位	1号炉			2号炉		
			1回目	2回目		1回目	2回目	
排ガスを採取した年月日			2022年8月19日			2022年7月8日		
結果が得られた年月日			2022年9月20日			2022年8月22日		
排ガス中のダイオキシン類濃度	0.05	ng-TEQ/m ³ N	0.00043			0.000074		

【検査項目等の説明】

- ・ばいじん濃度 : 物の焼却とともに発生する。このうち、すす、完全に燃焼した灰分、燃焼ならびに熱分解による固形粒子をいう。
- ・塩化水素濃度 : 塩化ビニール樹脂等の燃焼の際に発生し、刺激臭を有する無色の気体である。自然界では火山活動等で発生する。
- ・窒素酸化物濃度 : 石油、ガス等の燃料の燃焼に伴って発生し、その発生源は工場、自動車、家庭の厨房施設等多種多様である。
- ・硫黄酸化物濃度 : 石油や石炭を燃やすとそれらに含まれている硫黄分が酸素と結合して発生する。天然には、火山温泉等に存在する。
- ・ダイオキシン類 : 塩素、酸素、炭素、水素の存在下で、ものが燃焼するとき発生する有機化合物である。ごみ焼却、タバコの煙、自動車の排気ガス、野焼きのほか様々な発生源から副生成物として発生する。